



FUYO LEASE GROUP

News Release

2021年2月17日
株式会社日本政策投資銀行
芙蓉総合リース株式会社

Excelsior Energy Capital 1号ファンドへの出資について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺一、以下「DBJ」という。）及び芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長：辻田泰徳、以下「芙蓉リース」という。）は、Excelsior Energy Capital（本社：米国、Managing Partner：Chris Moakley、以下「EEC」という。）及びDBJが設立した米国再生可能エネルギー事業を投資対象とするExcelsior Energy Capital 1号ファンド（以下「当ファンド」という。）への出資を決定しました。また、当ファンドは2020年12月末に両社の他、米国内外の投資家からの資金募集を完了いたしました。

EECは、米国最大級の再生可能エネルギー資産保有会社であるTerra Form社から独立したメンバーを中心として、当ファンドの運用を目的に2017年6月に設立されました。米国の再生可能エネルギーは今後も太陽光や風力を中心に拡大することが予想される中、当ファンドは昨今注目を浴びる分散型電源としての中小規模の再生可能エネルギー発電所を主な投資対象としております。

DBJは、旧日本開発銀行の時代より長年にわたり、我が国エネルギー産業への投融資により同産業の成長に貢献してまいりました。当ファンドについてはその先見性・独自性に鑑み、ファンド組成当初よりアンカーインベスターとして関与しております。国内の金融機関と連携し、当ファンドによる投融資機会の創出を通じて、我が国金融資本市場の活性化にも貢献していきます。

芙蓉リースは、中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、「エネルギー・環境」を戦略分野の1つと定め、気候変動問題の解決に貢献するビジネスを推進しています。当ファンドへの出資で得た知見を活かし、脱炭素社会の実現に取り組む顧客へのソリューションの提供とファイナンス面でのサポートをグローバルに拡大していきます。

両社は、当ファンドによる再生可能エネルギー事業への出資を通じて、米国における最新の業界動向や先進的な電力市場のノウハウを獲得し、引き続き我が国エネルギー産業の発展並びに脱炭素社会の実現に貢献していきます。

【お問い合わせ先】

株式会社日本政策投資銀行 企業金融第5部 電話番号 03-3244-1620
芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室
電話番号 03-5275-8891